

学生提案 恋心グミ&チョコ

14日のバレンタインを控え、イオン(千葉市美浜区)はカカオ価格の高騰が続く中でも、チョコレートを楽しむ新たな提案を打ち出している。ひまわりの種由来の原料を使った「チ

イオン×神田外語大

チョコか?は、カカオを100%使用した「恋心グミ」の姉妹商品として、イオンで再販された。昨年6月と「恋心グミ」の発売開始から約8カ月の2種類を販売している。でシリーズ累計販売数10万個を突破した。通常のチョコと同様に湯煎で溶かすことが可能で、バレンタイン向けに、カップケーキやブラウニーなどのレシピを公開している。

イオンと共同開発した「恋心グミ」は、甘酸っぱい初恋を表現した。若者層に受け入れられ、学生に人気を博した。イオンと共同開発した「恋心グミ」は、甘酸っぱい初恋を表現した。若者層に受け入れられ、学生に人気を博した。



イオントップバリュと新商品を開発した神田外語大の学生ら
千葉市美浜区

「チョコか?」が好調なほか、若年層の感性を取り入れた商品開発にも注力。神田外語大(同区)と連携し、恋心をイメージした「グミ&チョコレート」の販売も始めた。(粕谷健翔)

カカオ不使用「チョコか?」好調

が海外旅行先で「魅力を感じた菓子」を購入して持ち寄り、試食会や意見交換を重ねた。学生のチョコレート菓子への関心の高さに加え、国内で市場拡大が続くグミである点も踏まえ、グミ&チョコの商品化を決めた。

食べやすさを考慮し、チャック付きのスタンドパッケージを採用した点も学生提案の一つ。勉強や作業の合間に少量ずつ食べられる仕様とし、日常シーンでの利用を想定した。

価格は本体198円で、全国のイオンなど約1780店舗で販売している。本プロジェクトのリーダとして、外国語学部4年の野中陽南さん(22)は「パッケージなどにも自分たちの意見が反映されてうれしい。2種類の違いを楽しんでほしい」と呼びかけた。